

品目別レポート たら類

■品目説明

日本で流通するたら類は、主にマダラ、スケソウダラ、ヘイク、メルルーサ、ホキ、ミナミダラなどである。近年、日本への輸入が増加しているメルルーサは、品目分類上はヘイクに含まれる。

日本の場合、たら類は主として、冷凍すり身、ラウンド、ドレスおよびフィレの形で輸入されている。マダラは主に生鮮（一部塩蔵、塩干品がある）で流通し、切り身の形でもっぱら総菜に用いられる。スケソウダラは、ほとんどがすり身に加工され、練り製品の主原料となる。スケソウダラの一部はすり身、棒干しダラなどに加工されるほか、冬場にマダラと同様、鍋ものの具材として生鮮で流通する。ヘイクはフィレ加工され、総菜として消費される。なお、ファーストフードのフィッシュバーガーの具材として、骨、皮、内臓などを除いた魚肉部分から一定の形に切り分けられ、粉をつけ、フライにして使用されている。英国では「フィッシュアンドチップス」の材料、韓国では生鮮で鍋の具材として消費されることも多い。

農林水産省「漁業・養殖業生産統計」によると、日本の海面漁業によるたら類の20年の漁獲量は21万6,631トンで、前年比4.4%増だった。北海道が19万9,742トン（シェア92.2%）、ほか青森、宮城、岩手で若干量の水揚げがある。

■輸出概況

日本の20年たら類の輸出額は、前年比17.6%減の2,214万ドルであった。一方、輸出量は、同20.4%減の1万5,908トンと前年比減となったが、2013年の6万1,026トンと比べると73.9%の減少となっている。

20年のたら類の輸出額を相手国別で見ると、中国向けが1位で前年比25.8%減の1,271万ドル、2位は韓国で同8.8%減の588万ドルとなった。上位2か国合計で金額全体の84.0%を占めた。輸出単価は韓国向けがトンあたり3,342ドル、中国向けは同1,007ドルとなっている。

▼表1：日本のたら輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	11,895,126	9,674	17,132,752	16,086	12,713,827	12,618	△ 25.8	△ 21.6
韓国	10,956,213	3,970	6,460,883	2,165	5,889,822	1,762	△ 8.8	△ 18.6
ロシア	2,458,866	748	1,605,524	520	1,659,505	490	3.4	△ 5.8
ベトナム	466,075	457	940,228	679	1,468,778	876	56.2	29.0
タイ	252,189	331	211,207	245	149,256	55	△ 29.3	△ 77.6
全世界	26,661,463	15,368	26,882,327	19,985	22,142,704	15,908	△ 17.6	△ 20.4

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.55, 0302.56, 0302.59, 0303.63, 0303.66, 0303.67, 0303.68, 0303.69, 0304.71, 0304.74, 0304.75, 0304.79, 0304.94, 0304.95

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

■海外事情

●中国

中国における20年のたら類の輸入額は前年比24.2%減の13億4,812万ドル、数量ベースでは10.3%減の88万1,957トンとなった。

▼表2：中国のたら輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ロシア	993,104,756	630,155	1,264,643,088	753,793	948,573,163	683,797	△ 25.0	△ 9.3
米国	233,813,428	97,141	171,635,804	68,044	120,291,833	52,330	△ 29.9	△ 23.1
ノルウェー	134,644,086	31,209	128,163,376	28,445	116,482,871	26,758	△ 9.1	△ 5.9
ニュージーランド	56,871,633	27,306	54,627,039	24,788	37,035,206	20,981	△ 32.2	△ 15.4
グリーンランド	43,072,125	12,406	36,472,901	10,561	24,777,965	6,878	△ 32.1	△ 34.9
日本 (8位)	12,102,008	9,251	17,815,510	16,401	13,792,666	13,022	△ 22.6	△ 20.6
全世界	1,552,992,346	876,976	1,779,481,249	983,155	1,348,129,968	881,957	△ 24.2	△ 10.3

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.55, 0302.56, 0302.59, 0303.63, 0303.66, 0303.67, 0303.68, 0303.69, 0304.71, 0304.74, 0304.75, 0304.79, 0304.94, 0304.95

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

主要相手国別・地域別にみると、1位のロシアが前年比25.0%減の9億4,857万ドル(シェア70.3%)、2位の米国が同29.9%減の1億2,029万ドル(同8.9%)、3位がノルウェーで同9.1%減の1億1,648万ドル(同8.6%)だった。日本は8位で同22.6%減の1,379万ドル(シェア1.0%)だった。

●韓国

韓国による20年のタラ類の輸入額は前年比6.0%増の3億9,311万ドル、数量ベースでは同6.2%増の23万849トンとなった。主要相手国別にみると、1位のロシアが前年比9.7%増の2億7,569万ドル、輸入量が同16.3%増の18万6,871トンとなった。シェアは金額ベースで70.1%、数量ベースで80.9%となっている。2位は米国で、輸入額が前年比7.5%増の1億351万ドル、数量が12.0%増の3万6,835トン。3位が日本で輸入額は前年比6.4%減の630万ドル、数量が同18.5%減の1,799トンとなった。

▼表3：韓国のたら輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ロシア	291,637,496	224,220	251,389,003	160,739	275,692,016	186,871	9.7	16.3
米国	104,678,294	38,088	96,285,663	32,886	103,517,817	36,835	7.5	12.0
日本	11,383,950	3,981	6,737,801	2,207	6,305,525	1,799	△ 6.4	△ 18.5
中国	6,298,275	2,632	6,286,745	2,799	5,609,831	2,145	△ 10.8	△ 23.4
オランダ	813,770	1,416	8,003,337	15,258	836,439	1,666	△ 89.5	△ 89.1
全世界	417,178,196	271,348	370,976,276	217,341	393,111,133	230,849	6.0	6.2

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.55, 0302.56, 0302.59, 0303.63, 0303.66, 0303.67, 0303.68, 0303.69, 0304.71, 0304.74, 0304.75, 0304.79, 0304.94, 0304.95

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

従来、韓国で冬の魚といえばスケソウダラとタラが挙げられてきた。ただし、2魚種とも世界的に漁獲量が減少しており、アンコウやフグなどが代替食材として用いられる場合もある。韓国の水域でも、過去の過剰漁獲によりスケソウダラのほぼ絶滅状態であり、ロシア側の排他的経済水域で入札方式によって漁獲するものが大半である。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。